

学びの交流拠点の中心となる 「まんなかライブラリー（図書館）」について考えよう！

Vol.1



いよいよ、「高野町学びの交流拠点整備事業」の設計がスタートします。
親しみやすく、利用しやすい施設を目指し、町民のみなさまと事業者とともに話し合いを重ねながら進めていきます。ハード面だけでなく完成後の使われ方をイメージしながら、多様で建設的なご意見を掘り起こし、計画の策定に活かしていきます。

開催日：2021年2月24日（水）

時間：午後6時30分～8時30分

参加者：約20名

会場：高野町公民館2階 大会議室

📖 当日のプログラム

1. 教育長ごあいさつ
2. ワークショップについて
3. 図書館の事例紹介
4. 計画素案について
5. グループワーク
6. 発表
7. おわりに

**各テーブルでは参加者の町に対する
熱い討論が繰り広げられました**



教育長のご挨拶



模型を用いた討論



各チーム討論内容を発表

1. 学びの交流拠点整備の概要



〈既存施設の利用と並行した工事〉

- ◆既存の給食センターおよびこども園の運営に支障が無いように配慮し、順次工事を行います。

〈工事中の町道中学校線安全の確保〉

- ◆工事動線を敷地山側に設けることで町道中学校線に工事車両を通しません
- ◆敷地周辺にはガードマンを配置し、敷地の外の安全も確保します

〈町有林エリアの整備〉

- ◆今後、町有林エリアの整備ワークショップの開催を予定しています。
- ◆生徒と町民の皆様で共に育む学級園やグラウンドの観客席等を整備していく予定です。

〈工事工程〉

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
給食センター	設計等	工事	運用開始	
こども園 小中学校 公民館	設計等		工事	運用開始

2. ワークショップとは？

- ◆ワークショップとは「**学びと創造の場**」であり、「**交流の場**」です。
- ◆参加メンバーの皆さんが互いに尊重し、対等な立場で建設的な意見を出し合います。
- ◆必ずしも、答えや結論を出す場ではありません。
- ◆予算や法令等の制約により、いただいた意見等のすべてが実現できるわけではありません。



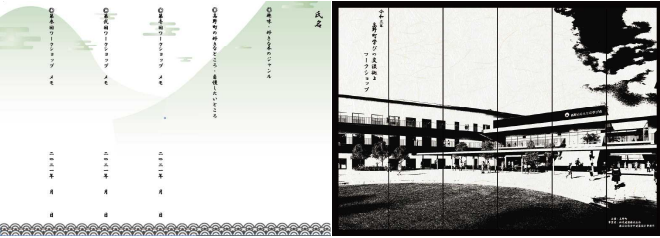
ワークショップ自体が学びの交流拠点のモデルとなり、スムーズな運用の開始につながる

3. ワークショップのルール

- ◆他のメンバーの**意見を否定しない**
→互いの意見を聴き合みましょう
- ◆メンバーの皆が発言できるように**発表はできるだけ簡潔に**
→時間が限られているため、簡潔かつ数多くの意見を引き出しましょう
- ◆**気楽に、楽しく、真面目に**遠慮なく色々なアイデアを出してください
→建物完成後に、皆様が心地よく利用するためにご協力ください

4. グループワークの進め方

01. チーム分け・自己紹介



表：写経のデザイン 裏：屏風のデザイン
 筆ペンで自己紹介シートを記入

高野町の木々である、さくら、ひめしゃが、もみじ、まんさくの名前の4チームに編成しました。参加者およびファシリテーターは各自、左図の自己紹介シートを記入し、お互いに自己紹介をしていただきました。

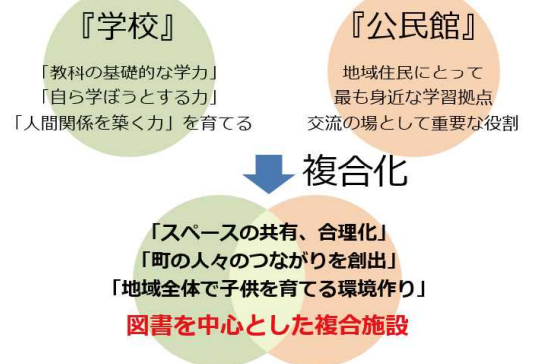
〈自己紹介内容〉

- ①氏名 ②趣味・好きな本のジャンル
- ③高野町の好きなところ、自慢したいところ

02. 図書館の事例紹介



市民交流プラザふくちやま



地域図書館・学校図書館の融合

公共の図書館や地域と連携した学校図書館の事例を紹介し、本事業における図書空間の重要性を説明しました。

03. 3つのテーマを軸とした討論

- テーマ 1:(10分)
現在の公民館図書館について思うこと
- テーマ 2:(20分)
どのようなサービスやスペースがあれば図書館に来ますか？
- テーマ 3:(10分)
高野町らしい図書館とは？



各テーマごとに色付きの付箋を用いて様々な意見を集めました。ハード面だけでなく、ソフト面の意見も数多くありました。

04. 各チーム発表



それぞれのチームの代表者が各テーマについての討論の内容を発表。ワークショップのルールに則り、会場の全員が発表を静かに聞き、意見を尊重する非常に有意義なワークショップとなりました。

5. 各チームの討論内容の振り返り

『さくらチーム』

テーマ1

図書室内について

- ◆“本”以外はないイメージ
- ◆調べ物ができない
- ◆図書室の使い方が分らない
- ◆本の返却が億劫
- ◆返却ポストが欲しい。図書カード制度が利用しにくい
- ◆本のカバーでしっかりと本を守ってほしい(こどもの破損防止)

本の内容について

- ◆古い本ばかりで新鮮さが無い
- ◆イメージとして小さい子供向けの本が多い
- ◆豊富なジャンルの本や専門誌が無い
- ◆バックナンバーが揃っていない
- ◆シリーズ物の連載が途中で入荷しなくなっている

その他の意見について

- ◆利用時間
 - ・平日夜間、土、日、祝日の利用
- ◆利用時はいつでも暖かく、涼しい環境を整えて欲しい
- ◆快適な環境が利用率を向上させる

テーマ2

サービスについて

- ◆本の専門家を配置して欲しい
- ◆年配の方にもわかりやすい素敵な本のカタログの作成
- ◆大人の感想文コンテスト賞品付
- ◆本のネット検索と配達サービス
- ◆持ち寄り本の無料交換コーナー
- ◆子供が汚しても気軽に見られる本のコーナー
- ◆自分の誕生日の新聞が見れるなど興味や愛着が持てるコンテンツ
- ◆来館時にポイントを付与→粗品贈呈

スペースについて

- ◆リラックスできる半個室化した視線を遮る場所がほしい
- ◆シアタールームを併設し、アニメや映画の上映を通じて読書につながればいい

テーマ3

高野町の歴史や伝統を知る

- ◆大学図書館との差別化のため宗教本は大学に任せてもいいのでは
- ◆高野の七不思議の本を置く
- ◆高野山高校の紙芝居をここで行う
- ◆江戸時代や、昔からの高野町の写真集の展示

地域連携

- ◆子供向けの高野山学として、仏さんの話や豆知識を学芸員さんに話してもらう
- ※町の人、例えば町案内さんのお話
- ◆子ども以外の人々が聞いても知らないことがたくさんあって面白い耳で聞くと肌で感じられ良い
- ◆昔のように日曜学校で宗教のお歌を歌ったり、そういう取組みで成長過程の中で宗教を少しずつ理解する環境作り



『ひめしやがチーム』

テーマ1

立地・配置について

- ◆公民館の場所を知らなかった。
- ◆立地が悪い。

図書室内について

- ◆狭くて暗く、入りづらい
- ◆本だけに囲まれた空間
- ◆お昼寝ができるようなゆっくりできる場所がない。
- ◆他の町の図書館へ行ってしまう。
- ◆本が少ない。
- ◆可能性を伸ばすような本がない

運営時間について

- ◆土、日、祝日が閉館しているため利用できる時間がない。

テーマ2

サービスについて

- ◆カフェ(メイドカフェ)
- ◆施設までの送迎サービス
- ◆タブレット、電子書籍で読書
- ◆ブックトレード
- ◆町の誰かの本を貸し借りできるようなシステム
- ◆図書館来館ポイント制度
- ◆ポイントが粗品へ
- ◆自動で本の検索や取り出しが可能なAIロボット
- ◆本を読んだ後のアンケート実施
- ◆公民館活動にこどもも参加できる

スペースについて

- ◆こどもが気軽にボードゲーム等ができる談笑スペース
- ◆託児所
- ◆アスレチック書架
- ◆購買コーナー(学校備品が購入できる)
- ◆自習室
- ◆サウナ

テーマ3

高野町の歴史や伝統を知る

- ◆高野町出身の方が書いた本
- ◆大門の大竹などのモニュメントを飾る(書架案内サイン等)
- ◆曼荼羅を空間に活かす
- ◆灯籠堂のような造り

高野町の自然を活用

- ◆木育

その他の意見について

- ◆町民の発表の場
- ◆高野山に向けたロコミが閲覧できるコーナー
- ◆子供だけでも利用できるよう、大人の目が必要



『もみじチーム』

テーマ1

感じていること

- ◆楽しくない、行きたくない
- ◆知らないし入りにくい
- ◆無味乾燥なスペース
- ◆孤独を感じる
- ◆図書館に行く目的が限定的すぎる
- ◆図書館=本=勉強のような義務感
固定概念が払拭できない

図書機能について

- ◆本しかない
- ◆蔵書数が少なく、古い
- ◆新書の入庫情報が分かりにくい
- ◆司書さんがいなくて借りにくい
- ◆返却しにくい
- ◆規則正しく配置されており、
面白くない

その他の意見について

- ◆まちの回覧に図書館便りを
- ◆ネーミングの募集とスポンサー
- ◆多様な文化や音楽などが学べる
ミニステージやミニライブなど
- ◆ビブリオバトルの開催
- ◆習い事

テーマ2

サービスについて

- ◆カフェ(スタバ)、BAR
- ◆Wi-Fi環境
- ◆手軽なネット検索
- ◆人気の本等の情報の掲載
- ◆借りた本の冊数で景品と交換
- ◆本の取り寄せサービス
- ◆住民参加の蔵書づくり
- ◆欲しい本のリクエスト
- ◆本の購入、寄付
- ◆おしゃれなBGM

スペースについて

- ◆マンガのみの空間
- ◆畳やハンモック、ソファの設置
- ◆キッズ、メディア等コーナー
- ◆テラス席

- ◆悪天候の日でもすぐに建物内へ
入れるように
- ◆写経ができる。大師協会とコラボ
- ◆ギャラリーとして利用
国内外の作品やアーティスト
町民の作品を飾る。

テーマ3

高野町と言えば

- ◆外国、年配の方も利用しやすい環境
- ◆堅苦しくない環境
- ◆"ゆるい"を大切にしたい
- ◆冊数の多さよりも中身を大切に
- ◆住民同士の顔が近いので〇〇さん
の本コーナーの設置等

料理好き田中さんの 料理コーナー

今月のおすすめ
『高野豆腐カレー』

※高野クッキング掲載



高野町の自然を活用

- ◆冬場にこそ訪れたい、集まりたい
魅力のある施設



『まんさくチーム』

テーマ1

立地・配置について

- ◆公民館の立地が悪い
- ◆図書室の場所が分かりにくい
- ◆公民館に入ってから、図書室に
行くまでに事務室の前を通過し
なければいけないのが心理的に
行きづらさを感じる

図書室内について

- ◆テーマ毎に書架が配置されてい
ないため、どこにどのような本
があるのか分からない。
- ◆蔵書数が少なく、古い
- ◆本がカビ臭く手に取りたくない
- ◆デジタルコンテンツが少ない
- ◆落ち着いて読める場所がない
- ◆気軽に子どもと一緒に本を読む
場所がない

その他の意見について

- ◆広報の仕方を考える必要がある
・高野町 LINE グループでの拡散
・高野町 HP への掲載
- ◆映画館的な地域の鑑賞エリア
※映画館が高野町に無いため

テーマ2

サービスについて

- ◆カフェ、自動販売機の設置
- ◆ジャンルごとの書架区分
- ◆メディアコーナー(音楽、映像)
- ◆コンシェルジュの配置、設置
(アナログ、デジタル)
- ◆携帯、スマホからでも書架の
検索が可能なシステム
- ◆木のおもちゃコーナー
- ◆落書きコーナー

スペースについて

- ◆階段の両側に書架を配置し、階段
でも本が読める設え、階段の拡幅
- ◆飲食物持ち込み可能なエリア
- ◆一人で静かに読書可能なエリア
- ◆キッズコーナー(周囲が子どもの
声が気にならない仕様)

テーマ3

高野町の歴史や伝統を知る

- ◆高野町の歴史を絵本にする。
幼少期から高野町を知るきっかけ
づくり
- ◆世界遺産コーナー
(高野町内外問わず)
- ◆文化財の展示
- ◆町の仕事を知るコーナーの設置
(農業、伝統業、山林業等)
- ◆精進料理の本を設置

高野町の自然を活用

- ◆多様で豊富な自然・生物の存在
図鑑ではなく豊富な生きた教材
- ◆素早い自然へのアクセス
- ◆高野町を舞台に、日常の体験から
絵本を作成、発表、寄贈



6、ファシリテーターの感想

『さくらチーム』

身近な発想から議論が始まり、魅力的なアイデアにつながっていて、土地勘のない私でも、今の町・昔の町にある高野町ならではの魅力や課題を知ることができました。町民の皆さまの活力・話術やコミュニケーションの取り方にも発見と大変学びがあり、この町で、“みんなで作る”ことの可能性を感じたととても素敵なWSでした。今後、回を重ねていくことで、様々な視点での議論が深まっていくのではないかと思います、大変楽しみです。ご同席いただいた皆さま、たくさんの魅力的なご意見をいただきありがとうございました。

『ひめしゃがチーム』

和気あいあいとした楽しさと、地域のための真面目な議論ができ、とても素敵なWSでした。地域のつながりやあたたかさあふれる町で、子どもたちを地域で育てる仕組みや高齢者の方でも使いやすい仕組みを積極的に議論できました。“みんなで作る、みんなでつかう”という皆さまの想いを肌で感じることができ、これからのWSでのさらなる交流への期待が膨らみました。次回のWSもとても楽しみです。ご同席いただいた皆さま、ありがとうございました。

『もみじチーム』

真面目に楽しく！がとても似合うチームだったと思います。議論が収まらず時間さえあれば、まだまだ意見が多く出そうと感じました。意見どれもが視点の違う良い意見ばかりでしたし、凄くリアルでした。自分たちの施設（図書館）を自分たちで良いものにしようという強い思いが伝わってきて、少ない時間でしたが、“高野町”を少し知ることができたと思いました。この町ならば、施設ができた後も施設運営やイベントの利用など、地域の学校として笑顔で使用されるイメージが出来てそうで期待でいっぱいです。

『まんさくチーム』

“高野町らしい地縁”が垣間見えたワークショップでした。知人同士でもなかなか自分の意見を主張するのは難しいことですが、時間を区切らないと議論ができないくらい意見が溢れ出し、非常に驚きました。これも普段から皆さまが“町のことを良くしたい”と考えており、同じ方向を向いておられるからだと思います。当ワークショップを経て、皆さまと共に“町の交流の拠点”となる施設づくりができると強く感じました。次回はどうな意見が出てくるのか楽しみにしております。ご同席いただいた皆さま、ありがとうございました。

7、進行役から見た第1回ワークショップ

第1回ワークショップの参加ありがとうございました。今回は学びと交流の中心となる図書館廻りについて、ハードとソフトの両面から「こうあったらいいな」の視点で様々なアイデアを出していただきました。ワークショップで出されたご意見についてはフィードバックしながら計画案をまとめていきます。

ワークショップは学びの交流拠点のよりよい場づくりのためのプロセスの1つであると同時に、みなさま同士の交流の場でもあります。建物が完成した後の使われ方をイメージしながら、より交流が促進する仕掛けづくりをみなさまと共に創っていきたいと思います。

8、次回ワークショップ案内

第2回 テーマ：地域連携・地域開放について

開催日：2021年3月10日（水）

時間：午後6時30分～8時30分

会場：高野町公民館2階 大会議室

主催：高野町
事業者：松井建設株式会社
：安井建築設計事務所